

マッサージュチェアがもたらす新しい歯科医療のかたち

Felice Style

フェリーチェスタイル

大阪府吹田市
にしかわ. 歯科医院

「これからは、予防を当たり前にしていきたい」

大阪のベッドタウンとして時代を支えた千里ニュータウン。広域なニュータウンの南側にある佐竹台地区に「にしかわ. 歯科医院」がある。開業して4年目、手術室か予防室か迷ったが、患者さんの予防ニーズに応えるために予防室を増設した。そこは、快適な癒しの空間であるべきだということで“フェリーチェ”を導入された。



左より、歯科助手の崎山由香さん、歯科衛生士の後藤初美さん、
歯科助手の元岡美子さん、院長の西川学先生、歯科衛生士の水野
さやかさん。





院長 西川 学先生

千里ニュータウンの一角で開業

大阪の梅田から北に20分余りで吹田市に入る。市域北部は千里丘陵が占め1970年には日本万国博覧会が開催された。それに合わせるように生まれたのが日本初の大規模タウン開発の千里ニュータウンである。「にしかわ.歯科医院」は、そんな千里ニュータウン佐竹台地区で2008年に開業した。

「団地が生まれて40年以上経ちます。団塊世代が中心の町で、地域は高齢化し

ています。そのような環境で開業したのは、高齢者はもちろん、新しくこの地域に来られる若いご夫婦たちの健康を支えてあげたいと思ったからです」と西川 学院長。

団地内でテナントの数が少ないことから、意外なほど地域には歯科医院が少ない。「にしかわ.歯科医院」が開業するまでは、高齢者が気軽に歯科医院に通うには多少不便であったという。

「患者さんが2階に行きたいと思えるような空間を目指した」

1階とは全く違うイメージの2階予防室

「にしかわ.歯科医院」は佐竹台近隣センターという地区の商店街の一角にある。丘陵地のため、エントランスは階段を上る正面玄関と、裏にバリアフリーの入り口も用意されている。

1階はユニット3台の治療空間。開業以来1階だけで診療していたが、2012年5月に新たに予防スペースを2階に開設した。“フェリーチェ”2台がゆったり設置されている。

「開業から3年で2階を増設しようと考えました。その時、手術室か予防室かで随分迷ったのです。インプラントも行っているのですが、地域の皆さんと接し

てきて予防ニーズが高いと感じたので、最終的に予防室として立ち上げました」

2階は大きな窓と高い天井。気持ちの良い空間に感激する。「1階とは全く違うイメージで、患者さんが2階に行きたいと思える空間を目指しました」。

予防室は角柱の格子で左右がシンメトリーに仕切られた2ブース。明るく開放的な空間は1日中いたくなる心地良さである。「医院コンセプトの3C+1Cを実現した空間です」と西川先生。

3CはClean(清潔)、Comfortability(快適)、Communication(会話)で、1CはCommunity(地域)である。



まだ治療中の患者さんでも、受付時に「今日は2階でメンテナンスを受けたい」とリクエストされる方も多し。そんな患者さんにとっては、2階は歯科医院とは異なるようである。



「心からリラックスできるので 患者さんとの会話も弾みます」

癒しの空間に通常のユニットは置きたくない

「2階の空間デザインを考えているうちに、通常のユニットでは意味がないと思い、いろいろ探して“フェリーチェ”に行き着きました。予防とホワイトニング専用なので、患者さんに癒しの時間を提供したいのです。そのためにも、座る側の気持ちになってチェアを探しました」

予防空間で活躍されるのは、水野さやかさんと後藤初美さん2人の歯科衛生士さん。チェア選定時には歯科衛生士さんも参加して“フェリーチェ”に決定された。

水野さんは「座り心地が良いのでびっくりしました。クリーニング中でも眠れる快適さです。実際にそのような患者

さんもいらっしゃいます」と語られる。

後藤さんは「まず、“フェリーチェ”は通常のユニットとイメージが違うので驚きました。座り心地がすごく良いので、また驚いて、マッサージ機能が付いているので、もっと驚きました」と言う。

また、お二人は異口同音に「初めて2階に案内すると、患者さんは部屋が見えた時にすごく喜んでくれます。こんなところできれいにしてくれるのって。予防室に居るだけで患者さんとの会話も弾みます」と語られた。

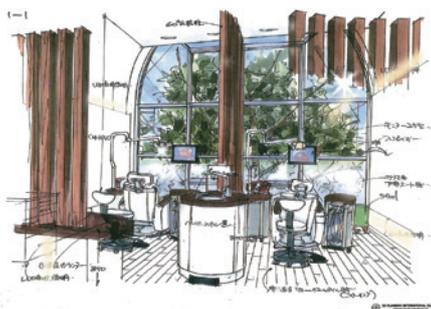
まさに、医院コンセプトの3C+1Cの実現空間である。



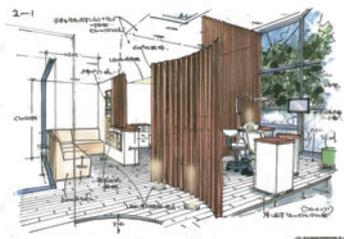
歯科衛生士の
水野さやかさん



歯科衛生士の
後藤初美さん



2階のデザインは悩んだ。窓の外の景色もリラクゼーションの要素と考え、何度もスケッチをおこなってイメージを固めていった。角材を使った格子で自然の温もりを空間にも創造した。





2階予防室は、1階の診療室とは全く異なる空間と位置づけている。メンテナンスの患者さんは、2階待合室に通されて終了後にはここで会計を済ますこともできる。

リラックスできて歯の健康が保たれば最高

2階には小さな待合コーナーもある。メンテナンスだけの患者さんは、直接2階で受付と会計を済ますこともできる。「にしかわ.歯科医院」に開業以来通われ、今ではメンテナンスで来られているという患者さん(自営業男性38歳)にお話を伺った。

「この部屋に入って感激しましたね。こんなに気持ちの良い歯医者さんは初めてです。それにチェアがいい。体の大きな私でもすごく楽で、まるで高級車に座っているようです。治療も終わって、いい状態をいつまでも保ちたいので、リラックスできる2階にはいつでも喜んで来ますよ。時間があればマッサージもしてもらいます」と、空間と“フェリーチェ”に大絶賛である。

西川先生は、これからは予防を当たり前にしていきたいと語られる。

「病気でなくとも歯科医院に来られる方が増えることは、歯を守るとともに全

身の健康にも大切なことです。もっともっとアピールしていきたいですね」

予防の患者さんは女性や子供が中心だが、最近では男性も増えてきている。とくに営業の方や自営でお仕事をされている方が増えているという。

「歯科医院は痛みを抱えて来る場所から、快適で気持ちの良い場所になることが大切です。そのためには、安らぎのある空間を提供することと、患者さんとのコミュニケーションが大事ですね」まさに、先生のお言葉通りの歯科医院である。スタッフはみんな明るく、治療中でもコミュニケーションが絶えない。

気持ちの良い時間を提供できる「にしかわ.歯科医院」。歯科医院が患者さんの癒しの場として衣替えしていく姿を見たようでもある。

癒しの空間を創造するのに、ユニットの機能、デザインは大きな要素でした。タービンやモーター類のホースを見るだけで緊張する患者さんもいるので、見せたくない。あくまでもリラックスして座っていただくためには恐怖感のない“フェリーチェ”のデザインは群を抜いていました。2階に来ただけで快適になっていただく。それは空間とチェアと歯科衛生士のコラボレーションの結果です。“フェリーチェ”のマッサージ機能は、付加価値のひとつであると考えています。(西川先生)

Felice

New Style in Relaxation 【フェリーチェ】

歯科用ユニット
フェリーチェ

●電源=AC100V 50-60Hz ●電源入力500VA
●使用空気圧=0.5MPa

管理医療機器 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器
22300BZX001750

